

前立腺肥大症と診断されたら…



前立腺肥大症の治療目標は、排尿障害の改善によるQOL(生活の質)の向上です。

前立腺肥大症があっても軽度であれば、保存療法といい、特に積極的な治療を行わず、しばらく様子を見る場合もあります。患者さんの症状や年齢、生活習慣に応じて最も適した治療が選択されます。

薬物療法

患者さんの前立腺の大きさや症状に合わせて、医師が処方します。

〈主な治療薬〉

- α_1 遮断薬、PDE(ホスホジエステラーゼ)5阻害薬
前立腺と尿道の筋肉の緊張をゆるめて、尿を出しやすくします。
- 5α 還元酵素阻害薬
男性ホルモンの作用を部分的にブロックすることにより、肥大した前立腺を縮小させ、尿を出しやすくします。

〈その他の治療薬〉

- 抗アンドロゲン薬
- 漢方薬 など



※患者さんの状態にあわせて、いくつかの薬剤が組み合わされて処方されることもあります。



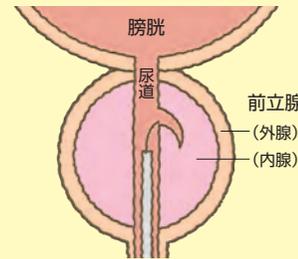
外科治療

①薬物治療で効果がみられない場合、②症状が重い場合、③尿閉・尿路感染症・血尿・膀胱結石などの合併症がある場合に手術療法が考慮されます。

〈主な手術法〉

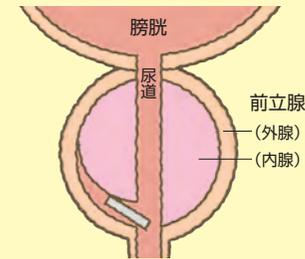
- TUR-P:
経尿道的前立腺切除術

尿道から内視鏡を通し、電気メスで前立腺の組織を少しずつ削り取る方法です。現在、最も一般的に行われている手術法です。



- HoLEP:
ホルミウムレーザー前立腺核出術

尿道から内視鏡を通し、その先端からレーザーを照射して前立腺の組織を焼き切る方法です。



〈その他の治療法〉

- 高温治療
- 尿道ステント留置術 など